

誠
克
創
自
他
尊
重

実
己
造

大成中だより

.06(6428)0029 <http://cen-web/school/j09/index.htm>

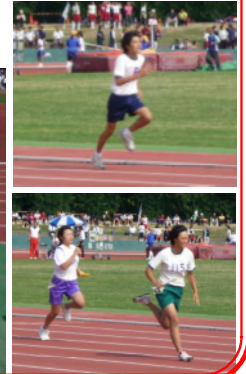
平成22年
10月18日
第48号

【躍動する大成～第47回尼崎市立中学校総合体育大会～】

抜けるような青空の下、第47回の中学校総体が開催されました。よく健闘し男子総合7位女子総合6位と、男女とも入賞を果たしました。近年は、男子がなかなか入賞できませんでしたが、ようやく盛り返してきました。応援の態度も良く、大成中の代表として、皆さんを誇らしく思いました。来年以降の楽しみがまた一つ増えました。

【合唱練習開始】

中央玄関に貼ってあるポスターに、『声を合わせることは、心を合わせること』（谷村新司）と書いてありました。まさにそうです。クラスが心を一つにして、互いを信頼し、声を合わせたとき、鳥肌が立つほど素晴らしい合唱が完成します。鳥肌が立つような合唱をぜひ聴かせて下さい。心を一つに、合い言葉は鳥肌？



【『正義』の話】

『これからの「正義」の話をしてしよう』という本を読んでいる。正しい行いとは何か？1人を殺せば5人が助かる状況があったとしたら、あなたはその1人を殺すべきか？と書かれた表紙に、思わず手に取ってしまった。まだ読み進んでいないので、第1章に書かれてた命題を紹介すると、ハリケーンに襲われた夏のフロリダで、普段は1袋2ドル(約160円)の氷が、1袋10ドル(約820円)で売られていた。250ドル(約2万5000円)の小型発電機は2000ドル(約16万4000円)、屋根に倒れた木を1本取るのに1万5000ドル(約86万円)・・・新聞は、「嵐の後でハゲタカがやってきた」と書いた。さて、『他人の苦境や不幸を金もうけの種にしようとすることは間違っている。』という新聞の主張が正しいのか・・・という話。自由経済の法則では、高ければ買わなければよい。必要とする人が多ければ、その品物の値段は上がる。だから当たり前のことが起こっただけなのだ・・・という主張。屋根の修理を必要とする家が多く、金になる。となると、屋根修理職人が多数集まって、結果早く復興するのだから良いではないか・・・という主張。ウム・・・何か変だと思うけど、君は反論できるかな？



【作品展多数入賞！】

47号で読書感想文準特選入賞を紹介しましたが、各教科の作品展でも、優秀賞を獲得しましたので紹介します。皆の活躍が嬉しい。

- (優秀賞)
- 技術科：1-2 村上 彰 君 (手作りおもちゃ)
1-2 山上昇太君 (手作りおもちゃ)
- 家庭科：1-4 高橋結衣さん (ティディベア)
3-3 林 真梨さん (くまのぬいぐるみ)
- 社会科：1-3 原田美結さん (世界の国新聞)
1-3 清川侑香さん (世界の国新聞)
2-3 阪本晴菜さん (歴史新聞)
2-6 岡本進也君 (歴史新聞)

青少年健全育成標語

佳作 2-1 川上友花さん

【新人戦市内大会】

- 女子ソフトボール部：優勝
- バスケットボール部：女子準優勝、男子3位
- 陸上部：1年女子4×100m優勝
2年男子4×100m優勝
2年男子100m優勝 (池田高博君)
1年男子100m3位 (遠藤穂高君)
1年女子100m優勝 (中馬睦美さん)
走り高跳び男子2位 (西方良祐君)
走り幅跳び女子2位 (木戸口奈央さん)



【大成50年こぼれ話(その3 図書室誕生)】

昭和36年開校以来、『尼崎市で図書館がないのは大成中だけ』という悲しい状況が、昭和48年まで続きました。生徒のために図書館を作りたいという当時の教職員、育友会の皆さんが一生懸命訴え続けて下さったおかげで、3階建ての東館に継ぎ足しをして4階を造り、そこにできました。今のLL教室です。図書室は、その後1階に移されましたが、本館屋上への階段を昇って東館4階に行くという少し変な構造でした。しかし、生徒達の喜びは大きく、図書室はいつも生徒であふれていたそうです。

【お知らせ】

10月27日(水)から11月2日(火)まで、オープンスクールを実施します。ご都合の良い時間に、自由に参観して下さい。

